

日本の新しい洗車文化をつくる

「車美容」或は「車BIYOH」という新しい概念

洗車屋快洗隊からキーパープロショップ快洗隊へ 昨年11月から約5ヶ月間の進化

快洗隊を「洗車屋 快洗隊」からコーティングプロショップとして「アフターケアが万全な高性能コーティングを、快洗隊のプロにお任せを」と、「キーパープロショップ 快洗隊」に急テンポで変身させている。その成果かどうか、三月の売上は前年同月比149.3%を記録した。その中でも、高価な高性能コーティングは、前年比で190.1%の伸び率である。(※休業していた五香店、新規店の札幌店を除く)

現在の快洗隊直営店14店舗の内、まだ設備的改善を行っていない店舗が「新浜店」「安城店」「松戸店」「相模原店」の4店舗ある。「岡崎店」「大須店」もほぼ何もしないが、進化の基準にしたのが「岡崎店」であって、「大須店」はそれに準じているので、これから看板を手直しする程度で済むはずだ。14店舗中8店舗がほぼ進化が終わっている。その軌跡を追ってみよう。これは昨年11月から始まった約5ヶ月間の「進化」である。

刈谷店 平成19年11月改装

ここは開店以来10年経っていたので、文字通りの大改装である。10年前に閉鎖SSを改造して造った刈谷店は、10年の年間で古が否めない。しかしながらレポート商売の強さで快洗隊のトップの成績を収めている。一時は売り上げアップが止まったかに見えた刈谷店が大改装を経て、また売り上げが上がり始めている。(平均500万円平均は目前)道路に面した四台分のコーティングブースの印象が強烈である。「洗車のできるコーティングプロショップ」をコンセプトに再出発した。



改装前 改装後
看板に純水プレミアムを
ゲストルームも
落ち着く雰囲気
跳ね上げ式オーバースライ
ダが高品質感を演出

知立店 平成20年4月改装

たった5日間で大変身を果たした知立店。快洗隊2号店である。2号店のため、十分なノウハウが無かった。そのため、柱の位置や動線が悪い位置にあり、作業効率が悪かった。この度の改装で、基本的な「動線」を確保し、洗車やコーティングプロショップのイメージを確立。改装後、安定した売上を上げ、非常に多くのお客様にリピートしていただいている。



改装前 改装後
正面のスーパーから
ハッキリ見える看板
快洗Wingで
動線の向上に貢献
今まで使えなかったピットが
今更、活躍する

北神戸店 平成20年3月改装

北神戸店の建設当初の姿は、ずいぶんすっきりした形だが、SS建設の業者さんに造ってもらったので、あちらこちらが異常に頑丈で建設費も高かった。2度の改装を経て、車4台が入るブースを押し込み、コーティング作業場を確保、ブースの威力はここでも発揮され、北神戸店、前年を大幅に更新しつつある。



改装前 改装後
高級感あふれる看板
狭い敷地だからこそ
快洗Wingが活躍する
磨きを意識した
コーティングブース

五香店 平成20年3月改装

五香店は閉鎖SSを改造した店であったが、キャンピの大きな柱がフィールドの中で邪魔して、どうしても動線が組めず、キャンピの老朽化もあって撤去することにした。撤去したキャンピのあとにテントを置いたら、動線がすばらしくなっただけでなく、高性能コーティングが著しく増えたのはどういう理由であろうか。これらじっくりと分析していかなければならない。



改装前 改装後
SSキャンピを壊して洗車屋
からコーティングプロショップへ
快洗Wingを導入
イメージがガラッと変わった

「アフターケア・メンテナンスの出来るコーティング」と「繰り返すコーティング」が「車美容」或は「車BIYOH」の新しい概念

「キーパー」は数ヶ月のサイクルで繰り返す「車の美容的なコーティング」であり、実は、ユーザーに車を長くキレイに乗っていただくために最も理にかなった方法である。それは「キーパー」の基本となっている「塗装面改善の理論」が特許として登録され、その特許が「グッドカンパニー大賞」・「新技術事業化推進賞」の対象ともなったことで評価されている。今後とも「繰り返すコーティング」として「キーパー」は正しい「車美容」として成長することを確信している。

しかし、「新車から〇〇年間保証コーティング」が急速に普及している中、一回目に長寿命で高性能なコーティングを施工し、そのアフターケアとして高品質な手洗い洗車と定期的なメンテナンスを繰り返すという形の「車美容」も、強力な武器になることは間違いなく、

「繰り返すコーティング・キーパー」と、今後我々が提唱していく「アフターのお世話まで出来る高性能コーティング・ダイヤモンドキーパー・アクアキーパー」などが、「車美容」或は「車BIYOH」としての概念を「日本に新しい洗車文化を」作り上げる日は近いと感じている。

「車のキレイは「洗う」「磨く」「掃除する」「塗装を守る」の4つで実現」

「洗車」とは「車を洗う」と書くが、実際にお客様が私たちに「洗車」を注文する時「車がキレイになること」を期待するのであって、車を洗うという行為を、お客様の注文と期待に応えたことにはならない。お客様の「目的」は「車のキレイ」であって、「車を洗うこと」はそのための「手段」でしかないといえる。逆に言うとお客様の「目的」が「車を洗う」だけなく、「車を洗う」が「車をキレイにする」ための「手段」で、洗車という行為は「車を洗う」だけでなく、「車を磨く」「掃除する」ことも必要だ。加えて、車のキレイさは「新しさ」にも

通じる必要がある。「車の塗装を守る」ことも必要であろう。車をキレイにする「車美容」或は「車BIYOH」を提唱する

車を洗うことには「洗車。もっとキレイに磨くことには「ポリッシュ」とか「研磨」。車を掃除することは「室内清掃」。車の塗装を守るには「コーティング」とそれぞれに呼称があるが、「車をキレイにする」全体を総称する言葉が「車美容」であった。だから、我々も総てを指す意味で「洗車」という言葉を使わざるを得なかったが、「洗車」で「車を洗う」という意味に限定されがちであった。一般の消費者に「洗車」と言えば「車を洗う」ことであって、「コーティング」なども含まれた車のキレイ全体のサービスを提供していることが伝わりにくかったのが事実である。「洗

車」という言葉の境界である。我々はこれを解消するために、「車を洗う」以上の高付加価値のある「車美容」を事業として、洗車のふさわしい呼称を長い間模索してきた結果、今後「車美容」或は「車BIYOH」(いずれも商標登録を申請中)という言葉をつくり、この名前を「車をキレイにしたい」と考える。

現代は「洗車」以上の「車の提供」を欲している

自動車の平均車齢が数年前の1.5倍まで飛躍的に伸びている。これは車が機械的に発達して非常に壊れにくくなったと同時に、車の保有者が隔々々々として、年間走行距離が相対的に短くなったことと所得の伸び悩みなどが原因であろう。

このことにより「車を大切に乗りたい」という意識が広がり、すでに「国民全体の美的意識が豊かに

「車はコーティングするもの」の意識が急速に広がり普遍的なものになっている

「4万円から8万円程度の高額な新車販売時のコーティング施工に各カーディーラーが力を入れ、今や乗用車販売販売台数の半分以上にまで進み、特にグレードの高い車種では70%、90%の車に施工がされているという。その結果、過去においては「車」のイメージが「洗車」から「コーティング」が「車」に必要不可欠という意識が広がり普遍的なものになってきている。

「新車でコーティングする車がなくなったので、洗車が水洗いばかりになってきた」と被害者の

「コーティングの市場」は想像以上に大きい

2007年国内のカーディーラーで施工された新車のコーティングは1250億円で、これは2004年の同データ150億の実に8倍の成長であった。日本全国のS店の洗車収益1920億円(推定)に迫る勢いである。コーティング市場はまだ成長過程であり、SSの店舗に新車を持ち込むケースが目立ってきている。また同じくコーティングの販売が出来るのは我々の立場としてのメリットであり、流れは明らかに向いていると考えるのではない。

プロの洗車をもっともっと世の中へ

KeePre TIMES

キーパータイムズ
5月10日
70号

社団法人 中小企業研究センター
2007年 グッドカンパニー大賞
新技術事業化推進賞 受賞

発行所 アイ・タック技研株式会社

住所: 愛知県大府市吉川町4-17
電話 0562-45-5258
FAX 0562-45-5268

ホームページ <http://www.sensya.com>
札幌 仙台 東京 名古屋 大阪 広島 福岡

発行部数18,000枚
製作社 有限会社 GMKワークス
無断コピー・複製を禁ず
ご質問・ご意見・お問い合わせは

キーパー 検索

又は 0120-517-158 まで

快洗 Jr. 3 デビュー

100V仕様のままより強力な水スプレーカを実現

コーティング施工済みの車にはコーティングに最適なムースでコーティングに良い洗車を提供できます

キーパーコーティングや、ダイヤモンドキーパーなどコーティングを施工した車の手洗い洗車に最適なムースを開発。

- 洗車後の泡切れ、すすぎ性がよい。
- コーティング膜に帯電していた静電気を放電させ、ほこり等の寄せ付けを防止。
- 輝き、艶の持続を特長とし、コーティング施工車本来の性能を最大限に引き出すことが可能。

※キーパームースはパワーホワイト300と入れ替え可能で、快洗 Jr.、快洗 Jr. II にも使用可能

手洗い洗車機のベストセラーとして、約4000台を世に送り出してきた快洗 Jr. シリーズが、この春さらに進化し、「快洗 Jr.3」として誕生した。主な特長は、まず、ポンプなどの改良により水スプレーの強化を実現、より早くしっかりと洗い流しができるようになったことである。そして2つ目は、世の中に増え続けるコーティング車に対応したコーティング車専用「キーパームース」が備わったことだ。この2つの機能が追加されたことで、これからの手洗い洗車はより効率的に高品質にますます進化していく。

コーティング時代へベストフィット

ブームの取り付け位置
本体後部から突き出す形状にして、より強固な構造に

操作スイッチ
押しボタンタイプに変更。濡れた手でもより操作しやすく

外装パネル
よりスタイリッシュに

ポンプとモーターをより強力タイプに
100V仕様のまま従来よりも強力な水スプレーカを実現

撥水コートより安定化
撥水コートをプロセスポンプインジェクターで供給。撥水コートの性能が安定化

水フィルタの強化
水フィルタを金属インサート構造に変更。冬季の凍結による破損防止に威力を発揮。従来の3倍以上の圧力にも対応

基本仕様	仕出
商品名 快洗 Jr. 3	仕出 高圧: 3.0 MPa
型番 QW-3110	使用ケミカル 撥水剤: パワーベースコート
外形寸法 高さ 2080 mm X 幅 960 mm X 奥行 600 mm	洗剤(期): 新パワームース4
質量 約70 kg	洗剤(期): キーパームース
電源 AC 100 V 50/60 Hz 共用	ケミカル消費量 パワーベースコート 2: 105cc/min
給水量 12 L/min 以上	新パワームース 4: 100 cc/min
エア供給条件 エア圧 0.5~1.0 MPa	キーパームース: 200cc/min
吐出量 高圧: 8.0 L/min (50 Hz / 60 Hz)	オプション ホースリールセット、耐凍害キット
中圧: 10.3 L/min (60 Hz 時)	
8.9 L/min (50 Hz 時)	
低圧: 4.5 L/min (60 Hz 時)	
3.8 L/min (50 Hz 時)	

快洗 Jr. 3 できる3つの手洗い洗車

極上手洗い洗車
コーティング施工車の手洗い洗車
超撥水手洗い洗車